

木馬会会報 (第56号)

＊オールカマー特集＊



96/09/13

～木馬達の予想～

本誌 こだわりの“へな”

オールカマー

◎…ホッカイソ= ○…ヤシマソブリン ▲…サクラローレル
△…マヤノトップガン

…“へな”の理屈…

夏競馬の代替開催のあおりから今の中山は非常に荒れていて力が要る馬場だ。それは先週の京王杯AHの1分35秒0という数字からも明らか。ならばGI馬2頭が人気をかぶる今回、力の要る馬場が得意な馬から入るのが得策。

本命は不良の日経賞を豪快に差しきったホッカイソ。今までの実績から実力的にもGIに近いレベルにあるのは確かで、ローレル・トップガンを負かすことがあっても何ら不思議ではない。鞍乗も岡部様に戻り、まさに狙い目充分。相手も力の要る馬場の得意なヤシマソブリン。休み明けの前走はやや期待外れだったが、叩き2走目で他の馬に比べて有利だし、只今絶好調の善臣ならば本当に面白い。(今回走らなきゃ終わりかな?)

と予想しましたが、我が本命ホッカイソが回避という情報が流れてきました。秋競馬第一弾の会報から本命が回避とはなかなか縁起がいい(?)ですが、原稿を書き換える時間もないので、そのままお読み下さい。すみません。

(せっかく楽しみにしていたのに残念でなりません。あーあ、つまない。)

栄蔵の1番弟子 TP

インペラトルが復帰してきて、競馬体系が勉強できたような気がする。ただ単に使えるレースを使うんじゃなくて、騎手とか相手関係を見ながらレースを選んでる。俗に競馬サークルは月日の経つのが早いというが、インペラを追いかけているとそのことを実感する。また、なぜこれだけやすんだのか、レース間隔が開いたのかもその内部を知ることができて興味深い。これからちょっと違った視点からも競馬を見れそうである。ありがとう、インペラトル。

～たかPの屁理屈～

オールカマー

◎…マヤノトップガン サクラローレル

マヤノはこの距離減法得意。休み明けの方が走るタイプ。展開的にも有利。ほぼ死角はない。

ローレルはそんなに強いのか疑問だったが、中山記念の勝ちっぷりからただモンではないと思い、1年以上の休み明けを1度叩かただけじゃだめだろうと思われた天皇賞を完勝した事で、超一流馬の仲間入りをした。この中間も極めて順調であり、その実力をいかに発揮できるだろう。

2頭の仕上がり具合が気になるのだが、マヤノは仕上がりやすいタイプだし、追いきりも絶好で心配ない。気になるのはローレルだが、8月初めからこのレースを目標に十分すぎるほど追っており、1年2ヶ月ぶりの中山記念を快勝しているようにボンがけもきくタイプ。という事で気にする事はないだろう。

ホッカイソが回避した今、道悪になったとしても上記2頭で鉄板だろう。こんなに硬いレースは年に何回ある訳ではない。もし私に結婚資金を使う度胸があるのならドカンと勝負にいくんだがなあ。

神戸新聞杯

ビッグバイアモンという馬は、前哨戦までは圧倒的な強さを見せるが本番ではいけないタイプである。あのスピードは3000mではつぶれてしまう。今回は2000mという距離、時計の出やすい久しぶりの阪神開催という事で、恐らく圧勝するだろうと思う。相手を見てもどうにも詰めの甘い馬が多く、この予感的中するだろう。

相手筆頭としては、実はダービーで穴を開けるならこいつだとばかり、隠れて100円流しをかましていたアドマイヤ。順調に使われている強み。だって、その外の馬に魅力がないんだもん。ジェニエはダービー3着だからってGIIIを勝てるかとなれば疑問な馬だし、ナムライナズマも全く手薄なGIIIを2着しただけ。ミナモトはホッカイソをスケールダウンしたような馬だし先週の時点で春より30%も太いという。はっきり言って、春の実績馬より使われてきた馬の方が妙味がある。ヒモ荒れしそうだがそれでも30倍以上つく事はないだろう。人気で5倍の確率もあり、それなら穴馬ばかり数点可愛く買うぐらいがいいだろう。GIでないのだから当てるに予想はしないので、

◎…ビッグバイアモン

△…アドマイヤビゴール、メイショウジェニエ、ダンツサイレンス
ナムライナズマ、(クリスタルドン)

先週の2重賞は完璧な予想でゲット。とても冴えている。今週もその好調を維持できるか!?現在の回収率90.5%。今年は重賞レースの成績が非常に良い。重賞レースの回収率は139.7%。これからは、あまり下級条件のレースにつぎ込まないほうが良いかも。

ハチロー 今週の予想

オールカマー

本命 マヤノトップガン

対抗 ホッカイソ 離れた抑え サクラローレル

マヤノは鉄砲実績も有り、8分でも適距離なら勝てる。ホッカイは日経賞以降、馬が変わった。好勝負。4歳時はムラ馬であったのが忘れられない。私は永遠にこの馬を本命にすることはない。抑えまで。残りの馬は格が違い過ぎる。(ホッカイソは出ません:事務局付記)

神戸新聞杯

本命 ビッグバイアモン

対抗 クリスタルドン

抑え アドマイヤビゴール メイショウジェニエ ミナモトマリノス
(インペラ君に勝った) マルカジャンプ

新人 ライスシャワシャワ

開発業務部・森田殿の紹介により、この秋シーズンより木馬会に参加することとなりました、情報システム部の丸山です。

かれこれ競馬を始めてから、「1点で当てる」ことをモットーにやって7年近くが経ちますが、JRA銀行にいつ引き出せるか分からない貯金を毎週しております。

秋のGIは勝ち越しを目標にやりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

四国の井崎

木馬会のみなさん、ご機嫌いかがですか？インペラトールの勝利おめでとうございます。リーディングジョッキー武を鞍上に楽勝でした。短いところばかり使われていますが長い距離もいけると思うのですが。ただ一気に900万を突き抜けるかどうかは？がつくところ。来週を楽しみに待ってみましょう。

さて、秋のクラシックシーズンがやってきました。今のところ天皇賞のマーベラスサンデーの本命を決めています。

オールカマーを使うと天皇賞は不要！そう思い込んでいます。中山2200mのゆったりレースを使ってしまうと、どうも東京2000mのスピード、瞬発力すべてを要求される過酷なレースに適應できなくなってしまうのではないのでしょうか？ビワハヤヒデ、ウィニングチケットが消えた2年前が強烈な印象として残っています。今年からは別定重量ですが、これまでは馬令制で実績馬には有利な斤量で出走でき、つい使ってしまうようになるのですが、過去10年みても、オールカマーを使って天皇賞で連対した例は平成元年のオグリキャップのみではないのでしょうか？詳しく調べていないので確信はありませんが。

そこで今回はサクラローレルとマヤノトップガンがいいレースをして天皇賞で1番人気になってしっかり消えてもらいたいと思っています。そして天皇賞は2番人気のマーベラスが勝つ！ただ同馬は、毎日王冠を使う予定であり、あっさりこれを勝って1人気になってしまうのが心配。

オールカマー

◎ マヤノトップガン ○ サクラローレル ▲ ホッカイルソー

△ ケントニオー（7才）

ホクトベガが7才でも勝ち続けており、7才世代というのはすごいのではないかとここ3ヶ月ぐらい感じていました。そしてブライアン6才世代は最弱。そういうふうに来てきた。

先週はまさに7才同士で決まってそれが証明された。関屋記念の本命対抗だったこの馬券を取れなかったのが非常に口惜しい。7枠から入って立て目をくりました。（北ではポジーやヤエノジョーオーの7才牝馬が2着）。

ということで6才馬サクラローレルは危ないとして対抗。秋の天皇賞を考えれば阪神大賞典のように2強で決まって欲しいのだが、サクラが若干不安なので5才馬ホッカイルソーを押さえる。カマーの語韻とルソーは一致してるし、天皇賞では無理だろうからここ勝負。2強に割って入る。

あと出走してくれば、唯一の7才馬でまだ若いケントニオーが特注です。

マヤノはここを勝ち、天皇賞が5着、ジャパンカップが2着で有馬1着の年度代表馬と勝手に決めます。

私は的中マークのストレスから開放されたので、気楽に予想を披露できます。的中合戦の皆様は頑張って下さい。

神戸新聞杯

◎ ビッグバイアモン

△ メイショウジュニエ、マルカシーズ、クリスタルドン、アドマイヤビゴール

ここはビッグバイアモンで断然。仕上げも万全過ぎて菊花賞を心配する人もいるぐらい。ここは負けない。2着探しが結構難しいので、軽く流して単が最も信頼できる。イシノサンデーが出てきてオッズが上がってくれないかなあ。

相手は全く混沌としている。春のクラシック戦線の実績馬がたいしたことないのは、先週のスピードオーが証明。何が来るかわからない。一応メイショウジュニエが筆頭だろうが、先週2200mの勝ち時計が出色のマルカシーズに穴を期待。

さて、今週より、情シ部の丸山君が新たに木馬会員として加わりました。今後屁理屈を並べてもおもうと思います。宜しくお願いします。

次号は毎日王冠特集とします。そろそろ秋競馬も本番。皆さんのボルテージも徐々に上昇していくことでしょう。力のこもった寄稿をお待ちしています。